

編集後記

第15回日韓整形外科スポーツ医学会は、2017年9月24日に韓国ソウル市において開催されました。9月3日には北朝鮮による核実験が、9月15日には弾道ミサイル発射が強行され、緊迫度を増す朝鮮半島情勢の中での開催とあって、自分なりに決死の覚悟で学会に臨んだつもりでした。しかし、現地はいたって平穏で、人々には全く緊迫感や悲壮感といったものはありませんでした。むしろ、週末だったこともあり、ソウル繁華街は若者で溢れ、路上ライブなどで異様なまでの盛り上がりを見せていました。Jアラートで右往左往している日本の状況との落差に愕然とした次第です。韓国の人々も国を取り巻く情勢は承知しているのだとは思いますが、朝鮮戦争以来、戦争状態が解消されていない中を生きている彼らとの、腹の据わり方というか覚悟の違いを思い知らされた気がしました。

学会には、日本整形外科スポーツ医学会（JOSSM）理事長の松本秀男先生をはじめ、2017年JOSSM学術集会会長の帖佐悦男先生、2016年JOSSM学術集会会長の筆者、さらに熊井司先生、菅谷啓之先生、西中直也先生らJOSSMのメンバー14名が参加しました。

本学会は、かつては2年に1回、日韓交互に開催していましたが、2014年からは毎年の交互開催となりました。これにより学術的な交流がさら活発になったのは必然的なことだと思いますが、今年は特に両学会の幹部メンバーによるビジネスミーティングが非常に友好的かつスムーズに進んだのが印象的でした。かつて

は、やや議論がギクシャクしていた時期もあったように聞きますが、やはり毎年顔を合わせ、胸襟を開いて話し合うことにより、円滑なコミュニケーションが可能となったのだと思います。

遠隔地にいて、間接的な情報や憶測のみに基づいて判断するのでは、実は何もわからないのだということ、そして相手を真に理解するためには、実際に会うこと、対話することが何より重要なのだということを今回の学会出席により身をもって実感した次第です。

今月号の特集は、竹内靖博先生（虎の門病院内分泌センター）のご企画による、「内分泌疾患に伴う運動器障害」です。先端巨大症、クッシング症候群、甲状腺機能亢進症・低下症、副甲状腺機能亢進症・低下症などなど、学生時代に習った知識しかない、いやその知識すらすっかり忘れてしまった疾患が並んでいます。これらの疾患と運動器疾患の関連性を知ることは、実は整形外科の日常診療において極めて大事なことだといえます。私自身、この際、本特集を通してあらためて内科疾患の勉強をし直してみたいと思います。

大義なき解散といわれた総選挙も現政権側の圧勝に終わりました。しかし、これにより国内外の問題が何一つ解決したわけではありません。今回初めて選挙権を得た20歳未満の若者たち、そして子供たちが未来に夢と希望を抱くことのできる日本と世界であることを願うばかりです。

（山下敏彦）

「整形・災害外科」第60巻 第13号（12月号） 2017年12月1日発行（毎月1回1日発行） 定価（本体2,500円＋税） 年間購読料金 定価（本体39,400円＋税） 〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03 (3811) 7165〔編集室直通〕 TEL 03 (3811) 7184〔営業部直通〕 FAX 03 (3813) 0288 http://www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600
---	---

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、二次的著作物の利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <（社）出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、（社）出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969、FAX 03-3513-6979、e-mail:info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。